

2022

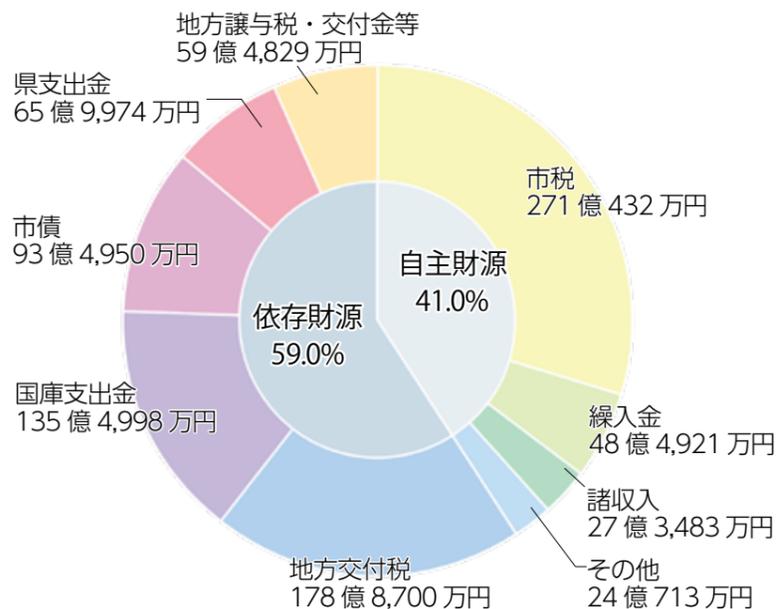
市報 やまぐち

4/1

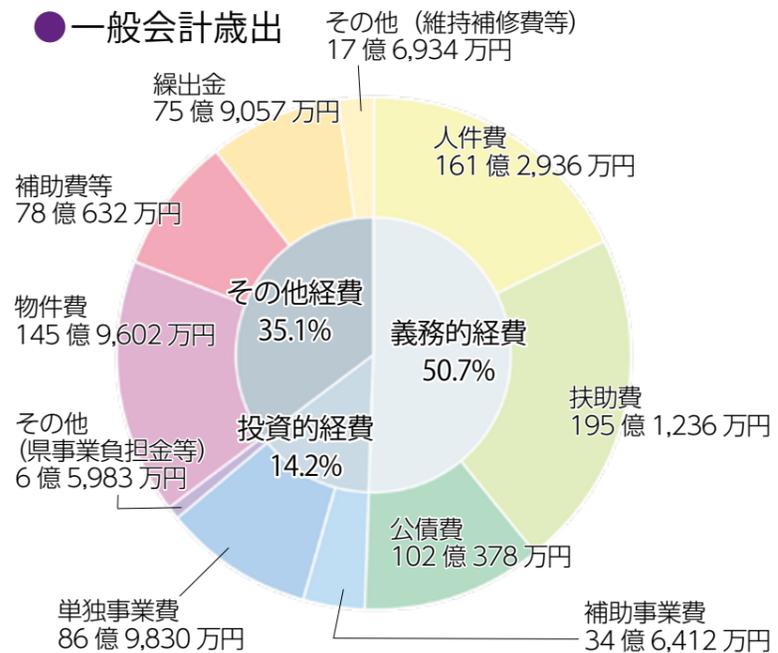
April
No.388

■ 特集	令和 4 年度予算とまちづくりの概要	2
■	令和 4 年度 組織改編のお知らせ	8
■	市政トピックス	12
■	令和 4 年 4 月 1 日施行「山口市みんなの手話言語条例」	13
■	県央連携都市圏域の情報を紹介「山口ゆめ回廊」	14
■	第 27 回中原中也賞	15
■	新型コロナワクチン接種に関するお知らせ	16
■	市長コラム「共に歩む」	16

●一般会計歳入



●一般会計歳出



●特別会計の予算内訳

特定事業を行う場合に、一般会計と区分して経理する必要のあるときに設けることができる会計です。原則、独立採算で運営します。

区分	当初予算額	対前年伸率
国民健康保険	201億5,350万円	0.6%
後期高齢者医療	35億9,374万円	10.6%
介護保険	182億5,950万円	1.0%
介護サービス事業	1,558万円	34.5%
駐車場事業	-	皆減
鑄銭司第二団地整備事業	10億9,110万円	▲34.0%
地域下水道事業	605万円	▲8.7%
国民宿舎	900万円	0.0%
特別林野	1,061万円	101.7%
合計	431億3,908万円	▲0.2%

●一般会計歳入
景気の動向を踏まえ、個人市民税は約3億1千万円、法人市民税は約1億5千万円の増収を見込んでいます。固定資産税は、新築家屋等の増加や宅地開発などにより、約6千万円の増収を見込み、市税全体では約5億2千万円増(1.9%増)となります。

●一般会計歳出
人件費は、期末手当支給率の引下げに伴い期末手当は減少となったものの、退職者数の増加による退職手当の増加などにより、約8億円増(5.2%増)となります。

●一般会計歳出
扶助費は、私立保育園の新設および定員拡大に伴う運営費の増加や、障害福祉サービス給付事業費等の増加が見込まれるため、約3億2千万円増(1.7%増)となります。

●一般会計歳出
所と地域交流センターとの一体的な整備事業費や医療施設・設備整備費助成事業費等が、事業の進捗に伴い減少となったことから、約11億8千万円減(8.4%減)となります。

●一般会計歳入

●一般会計歳出

令和4年度予算とまちづくりの概要

企画経営課 ☎083-934-2747、財政課 ☎083-934-2750

●令和4年度予算の基本的な考え方

「共に進める 未来都市づくり」予算

本市における **諸課題** への対応をこれまで以上にスピード感を持って進め、同時に、**新しい時代の流れ** への対応を、実装可能な最新技術もフル活用しながら進め、**地域課題の解決と地域経済の活性化** へつなげる

- 諸課題**
 - 新型コロナウイルス感染症
 - 農山村エリアの人口減少
 - 大都市圏への転出超過の流れ
 - 少子高齢化の進展 など
- 新しい時代の流れ**
 - 社会全体のデジタル化
 - 地域脱炭素
 - 女性の活躍推進
 - あらゆる世代の人材育成 など

以下の4つの重点領域でまちづくりを展開

- 1 新型コロナへの全力の対策
- 2 未来に向けた農山村・21地域づくり
- 3 将来にわたって発展する県都づくり
- 4 今の暮らしを豊かにするまちづくり

これらの取り組みを、デジタル技術の活用、地域脱炭素、女性の活躍推進、あらゆる世代の人材育成を図りながら進め、同時に、市民、地域、企業、大学の皆さんと一体となって共に取り組みを進める

農山村と都市が共存共栄し 持続的な発展が図られる未来都市の実現へ

令和4年度一般会計当初予算総額

904億3千万円

●一般会計当初予算総額は対前年度比で27億円増(3.1%増)とし、新型コロナウイルス感染症への全力の対策や、第二次総合計画前期基本計画の総仕上げと、後期基本計画につながる新たな事業展開を可能とする**積極型予算**として編成

16カ月予算総額

981億4千万円

●新型コロナウイルス感染症への対応を切れ目なく進めるため、国の経済対策を踏まえ、令和3年11月以降の補正予算と令和4年度当初予算を16カ月予算として一体的に執行

2 未来に向けた農山村・21 地域づくり

農山村エリアからスマートシティの取り組みを重点的に進め、同時に、基幹産業である農林水産業の振興、移住定住の促進を図ります。また、各地域交流センターを中心とした「個性と安心の21地域づくり」をさらに進めます。

農山村エリアの地域活性化

● 農林水産部の新設

本市の基幹産業であり、農山村エリアの地域経済を支えている農林水産業の振興を図るための組織体制の強化として「農林水産部」を新設します。また、農山村エリアの活性化に向けた移住・定住の推進の取り組みを効果的に進めるため、定住促進課を地域生活部から農林水産部へ移管します。

● スマート農機等の導入促進 【6,184万円】

農業生産における省力化、農家の負担軽減に向けて、デジタル技術を活用したスマート農業の実装を進めます。省力化や生産性の向上につながるスマート農機等の導入を支援するとともに、山口大学との連携のもと、スマート農業に関する実証事業を行います。



スマート農機の例：GPS機能付きトラクター
GPSの信号を受け、ハンドルを握らずとも農地をまっすぐ耕すことができます。

● 農山村エリアにおける起業創業支援【2,000万円】

農山村エリアにおいて、地域資源を活用し起業・創業する際に必要となる施設整備や機器の取得等の支援を行い、雇用創出や地域経済の活性化を図ります。また、地域資源の掘り起こしや、地域資源の更なる付加価値化の促進に向けて、関係者間の調整・橋渡しを行う専門人材である「ブリッジ人材」を導入します。



道の駅「きらら あじす」整備イメージ図

● 道の駅の機能強化・移転新設【合計4億2,806万円】 一部補正

道の駅「あいお」について、移転新設に向けた施設の基本設計や用地測量、造成設計等を行うとともに、ウェブサイトを作成し、情報発信力を強化します。また、道の駅「長門峡」の駐車場の拡張整備や、道の駅「きらら あじす」の増築・改修工事を行います。



農林水産業の担い手の確保・育成に取り組みます

● 外部人材の活用や新規就業者の支援【合計1億3,877万円】

「地域おこし協力隊」の受入体制づくりや、任期終了後の起業・定住の支援を行います。また、農林水産業の担い手の確保・育成に向けて、新規就業者に対して、必要な機械器具の取得や、家賃等への支援を行います。

地域を支える拠点づくりとネットワーク形成

● 阿知須地域・徳地地域の総合支所と地域交流センター等の一体整備 【合計6億8,551万円】

阿知須総合支所は令和4年5月、徳地総合支所は令和4年秋の供用開始を予定しています。



阿知須総合支所等の整備イメージ図

● 阿東地域交流センター篠生分館の建替整備【2億8,335万円】

● 湯田地域・平川地域 交流センターの増改築に向けた取り組みや大内地域交流センターの移転新築の検討【3億3,305万円】

● 地域交流センターのデジタル推進拠点づくり 【2,900万円】

市民の皆さんに身近な地域交流センター（分館含む）の公衆無線LANを増強整備するとともに、スマートフォン等を活用し、場所や時間にとらわれずに地域交流センター等の貸館手続を行うことができる仕組みを検討します。



徳地総合支所等の整備イメージ図

協働によるまちづくり

● 地域の個性を活かす交付金事業【1億9,963万円】

地域振興、地域福祉、安全安心などの各分野において、市内21の地域が主体的に使い途を決定できる地域づくり交付金を交付します。また、地域内外の交流や連携促進による、地域の愛着や誇りを育み、地域活性化につなげる事業に対して、「地域の未来づくり促進特別交付金」を引き続き交付します。

● 避難行動要支援者の避難支援体制づくり【2,461万円】

地域における、災害時に支援を必要とする避難行動要支援者の避難支援体制の構築に向けて、避難行動要支援者名簿を基にした個別避難計画（避難マイプラン）の作成・更新、関係機関との情報共有を一元的に管理できるシステムを導入します。

1 新型コロナウイルス感染症への全力の対策

新型コロナウイルス感染症の影響から市民の皆さんの暮らしと地域経済を守り抜き、元気を取り戻すための取り組みを進めます。

感染拡大防止に向けた徹底した取り組み

● 新型コロナウイルスワクチンの円滑な接種【17億6,843万円】 一部補正

希望する市民の皆さんが速やかに接種を受けることができる体制を確保するとともに、引き続きワクチンの接種を進めます。



● 「地域外来・検査センター」の運営【6,825万円】

検査の必要な方が安心して迅速に検査を受けられるよう「地域外来・検査センター」を運営します。

● 学校活動等で県外を訪れた小・中学生へのPCR検査の実施【1,500万円】

修学旅行等の県外活動から帰った小・中学生、教職員等のうち、希望者を対象としたPCR検査を行います。

● 子育て世帯への臨時特別給付金等の給付【32億5,260万円】 一部補正

国における「子育て世帯への臨時特別給付金」の給付に加えて、児童手当の所得制限を超過しているため給付を受けられない世帯に対し、本市独自に対象児童1人当たり10万円を給付しました。

● 住民税非課税世帯等臨時特別給付金の給付【26億9,851万円】 補正

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、さまざまな困難に直面した方々に対し、速やかに生活・暮らしの支援が受けられるよう、住民税非課税世帯等を対象に対象世帯1世帯当たり10万円を給付しています。

● 公共施設等での感染拡大防止に向けた取り組みの強化【2億957万円】 一部補正

消毒液等の保健衛生用品の十分な確保を図るとともに、私立保育園等における手洗い場の自動水栓化などの施設改修を支援します。

社会経済活動の維持

● 市内事業者の新しい生活様式への対応支援【3,000万円】

市内事業者の新型コロナウイルス感染症予防対策ガイドラインへの対応や、新たな業態にチャレンジするために備品・設備導入、ICTを活用した生産性向上の取り組み等に係る経費の一部を助成します。



キャッシュレス決済機器の導入

● 事業復活支援金等の申請に係る「中小企業支援総合相談窓口」による支援

中小・小規模事業者に対して、国の「事業復活支援金」を始めとした国・県・市による事業者支援制度を、ワンストップで案内します。

市内消費喚起

● 「エール!やまぐち」プレミアム共通商品券の発行支援【7億1,000万円】 補正

【プレミアム内容】10,000円で13,000円分（プレミアム率30%）
【販売数】20万セット（デジタル商品券7万セット、紙商品券13万セットを予定）

発行総額
26億円



「エール!やまぐち」プレミアム共通商品券イメージ
(デジタル商品券はスマートフォンアプリ「pring」で販売予定)

【販売期間】令和4年上半年を予定

● デジタルクーポンの発行支援【6,400万円】

市内の商店街組合等の団体が、消費喚起を図るために実施するプレミアム付きのデジタルクーポンの発行を支援します。

● 住宅リフォーム工事を通じた市内消費喚起【1億6,862万円】

市内施工事業者を利用した市民の住宅リフォーム工事（自己居住）費用の一部を、商工団体が発行する商品券（紙商品券：助成率10%、助成金額上限20万円 / デジタル商品券：助成率15%、助成金額上限30万円）により助成します。

● 地元農林水産物の販売促進支援【1,400万円】

生産者等による地元の農林水産物の直売イベントを「(仮称)月1マルシェ」として、毎月1回、中心商店街やKDDI維新ホールで開催します。このうち、令和4年10月には米価下落の影響を踏まえた米食促進イベント、令和5年2月には山口県央連携都市圏域の各市町との連携による圏域版マルシェを併せて開催します。



農林水産物の販売促進イベントの様子

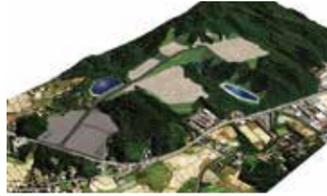
● 本市の更なる魅力創出につながるイベント開催への支援【2,000万円】

働く・起業なら山口

- 農林水産業の経営基盤の強化と担い手の育成
- デジタル技術の活用や人材育成への支援【2,500万円】
民間事業者等と連携し、市内企業のDXの促進やデジタル人材の育成を図り、若者の雇用の場の創出・市内企業の人材確保につなげるため、市内企業を対象としたセミナーの開催やアドバイザーの派遣、デジタル技術を活用した生産性向上・新サービス開発の取り組みを支援します。
- 働く女性の活躍応援事業、働き方改革の推進【合計900万円】
女性の就労環境の一層の充実を図り、市内事業者の女性が活躍できる職場環境づくりに向けた取り組みを支援します。また、働きたい女性が個性と能力を十分に発揮できる社会の実現に向けて、事業者を対象とした女性が働きやすい環境づくりに関するセミナーなどを開催します。
- 新たな産業団地「鑄銭司第二団地」の整備・分譲開始【9億6,520万円】



デジタル人材育成セミナーの様子



鑄銭司第二団地整備イメージ図

文化・スポーツ・観光なら山口

- YCAM 開館 20 周年プレ事業【1,000万円】
- 第30回地域伝統芸能全国大会山口大会の開催【4,220万円】
- 山口ゆめ回廊における広域観光連携事業の実施【7,490万円】
令和3年度に開催した「山口ゆめ回廊博覧会」における官民一体となった広域観光連携の取り組みを生かし、子どもの職業体験・社会体験イベント「Out of KidZania in やまぐち」の開催や、本市の「食」と「アート」の魅力を発信するイベントを開催します。



「Out of KidZania in やまぐち 2021」の様子

健康長寿のまち

- 総合病院の建替え支援【4億479万円】
総合病院山口赤十字病院および済生会山口総合病院の病棟等の建替に伴う建設工事にに対し支援します。
- 「山口市徳地診療所」の整備・診療開始【3,767万円】
- 「やまぐち『まちの福祉相談室』」による相談支援体制の強化【1,645万円】
福祉に関するあらゆる悩み事を「丸ごと」受け止める相談窓口「やまぐち『まちの福祉相談室』」(通称：ふくまる相談室)を設置し、包括的な相談支援体制の強化を図ります。
- 地域包括支援センターの体制強化【3億784万円】
- 山口市みんなの手話言語条例施行を契機とした意思疎通支援の充実
市内事業者等の講演会・研修会の開催時における手話通訳者等の設置費用への支援を行います。また、手話体験講座の拡充を行うとともに、市政テレビ番組の画面上に手話通訳を表示して放送します。



総合病院山口赤十字病院病棟イメージ図



済生会山口総合病院病棟イメージ図

安全安心のまち

- 地域脱炭素の推進【2,250万円】**一部補正**
公共施設における太陽光発電設備等の再生可能エネルギーの導入ポテンシャル調査を行います。また、本市の地域資源を最大限活用し、市民の皆さん・事業者と一体となって、地域活性化につながる地域脱炭素の取り組みを進めるための組織体制の整備として、環境部環境政策課内に「地域脱炭素推進室」を設置します。
- 総合浸水対策の推進【1億5,050万円】
重点的な浸水対策として、転倒ゲートの設置、取水ゲートの改修、雨水排水路の整備・改良、住宅における雨水貯留タンク等の設置費用への助成などの取り組みを進めます。

市民サービス向上

- デジタル行政の推進
市民の利便性向上と業務効率化を図るため、粗大ごみ戸別収集申込などの手続きのオンライン化の推進、窓口での支払いにおけるキャッシュレス化の対象拡大、AI活用による業務効率化、マイナンバーカードの普及促進を進めます。

ご利用ください。AI 総合案内サービス

市ウェブサイトと山口市 LINE 公式アカウントにおいて、スマートフォン等からいただいた行政サービスや手続きなどの質問に、AI(人工知能)が対話形式でご案内します。24時間365日ご利用いただけますので、ぜひお気軽にお問い合わせください。



ご利用はこちらから

3 将来にわたって発展する 県都づくり

新市発足以降の一連の都市基盤整備に係る重点プロジェクトを着実に仕上げるため、山口・小郡両都市核づくりを始めとした「広域県央中核都市づくり」を進めます。

山口都市核づくり

- 新本庁舎の整備【15億1,534万円】
令和6年度の竣工に向けて、建設工事に着手するとともに、周辺道路整備に向けた測量設計を行います。
- (仮称)湯田温泉パークの整備【3億2,375万円】
「住んでよし・訪れてよしの湯田温泉」の実現に向け、(仮称)湯田温泉パークを整備します。令和6年度の竣工を目指し、実施設計を進めるとともに、用地取得、解体工事などを行います。
- 中心商店街の活性化
「第3期山口市中心市街地活性化基本計画」に基づき、中心市街地エリアの活性化を図るため、「まちなかウォークابل」推進に向けた取り組み、空き店舗への新規出店支援、山口井筒屋2階に設置した地域の魅力発信・交流スペース「コトサイト」における地場産品の展示販売や子育て世代の交流事業、中心商店街の店舗と高等学校などが連携したイベント開催、シェアサイクルの実証事業などに取り組みます。



新本庁舎整備イメージ図



(仮称)湯田温泉パーク整備イメージ図

小郡都市核づくり

- 産業交流拠点施設を活用した新たな交流とビジネスの創出
山口市産業交流拠点施設「KDDI 維新ホール」を活用し、MICE等の誘致促進を積極的に進めます。また「メディフィットラボ」や「アカデミーハウス」、産業交流スペース「Megriba(メグリバ)」など、各施設の特長を生かしたさまざまな事業展開により、山口県央連携都市圏域を始め、県央部における新たな交流とビジネスの創出につなげます。
- 新山口駅北地区の民間再開発組合による市街地再開発への支援【5億2,790万円】



アカデミーハウスでの活動の様子

広域ネットワークの強化

- 国道2号(防府市台道～山口市鑄銭司)の4車線化や歩道設置の早期事業化等に向けた取組【691万円】
- 「第2期山口県央連携都市圏域ビジョン」の取組推進

4 今の暮らしを豊かにするまちづくり

教育・子育て、産業振興、医療・介護、交通、防災などの各分野で、便利で豊かな暮らしの実現につながる取り組みを進めます。

教育・子育てなら山口

- ICTを活用した教育の推進【2億4,872万円】
児童・生徒に1人1台配布したタブレット端末や電子黒板等のICT機器を活用した学習活動のさらなる充実を図るため、小・中学校における指導者用デジタル教科書やAIドリル教材などを引き続き活用するとともに、新たに、児童・生徒用の端末に授業支援ソフトを導入します。
- 小中一貫教育の検討【130万円】
義務教育のカリキュラムにおいて、学びと育ちの支援を円滑につなぐため、小中一貫教育に取り組むための研究や推進方策の検討等を進めます。
- 保育園・放課後児童クラブの定員拡大【63億7,021万円】
待機児童解消に向けて、保育園等の保育施設の定員を217人拡大し、放課後児童クラブの定員を75人拡大します。また、南部地域の市立幼稚園(鑄銭司、名田島、二島、秋穂)を統合し、新たに、鑄銭司地域に認定こども園の「山口みなみこども園」を4月に開園します。
- やまぐち母子健康サポートセンターを拠点とした相談支援の充実【3,723万円】
子育て支援アプリ「やまここ by 母子も」で子育て情報の配信を行うとともに、講座などをオンラインで予約できる機能を新たに追加します。また、新たに、小郡保健福祉センター内に常設の相談スペースを設置します。



やまぐち親子・子育てアプリ やまここ



ダウンロードはこちらから

どうして農林水産部を設置するの？

本市では、人口が新市発足後の人口推計を上回る状況にあるものの、依然として、農山村エリアの人口減少、少子高齢化の進展が続いています。

農山村エリアの地域経済を支えている農林水産業は、食料や木材などを供給するだけでなく、自然環境の保全や災害・地球温暖化の防止など、さまざまな役割を担っています。

この重要な農林水産業の振興とともに、担い手を呼び込む取り組みや生活面で定住するための条件を整える取り組みを加速化、強化するため、農林水産部を設置します。

農林水産部が中心となって行う重点的な取り組み

▶ 農林水産業の振興

1 担い手の確保・育成

農林水産業を営むための土地や機械、施設の確保をはじめ、就業後の技術支援や、住宅の確保など、一貫した支援を行うことにより、担い手の確保・育成に努めていきます。



2 産地形成・ブランド化

本市には広大な自然に恵まれたさまざまな風土や魅力あふれる産品が数多くあります。農協や森林組合、漁協などの関係機関と連携しながら、地域の特性を生かした産地形成や、作物のブランド化を図っていきます。



3 流通の強化

道の駅の機能強化や、地元スーパーマーケットとの連携強化、定期的なマルシェ等の開催により、地産地消の推進を図ります。また、都市部への積極的な情報発信等を行って、さらなる販路の拡大を目指します。



4 農林水産業のスマート化

AI（人工知能）やICT（情報通信技術）、ロボットなどの先端技術を活用して、作業の効率化や省力化、生産性の向上を図るスマート化を進め、農林水産業の収益アップにつなげていきます。



▶ 移住・定住の促進

広く外部から農林水産業等の担い手を呼び込む取り組みや働く場を確保する取り組み、地域コミュニティの形成、医療や福祉、教育、交通など生活を行っていくうえで必要な機能の確保を行い、安心して住み続けることができる地域づくりに取り組んでいきます。

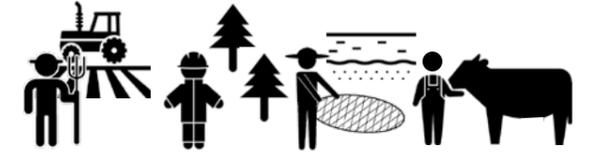


市では、農山村も都市部も共に発展するオール山口の発展を目指し、「住んでよかった これからも住み続けたい」と心から思える「ずっと元気な山口」の実現に向けたまちづくりを進め、効率的で効果的な行政サービスの提供と重点的な取り組みに対応する体制を整備するため、4月1日付けで組織の一部を改編します。また、一部の執務室が移転します。主な内容は次のとおりです。

☎ 総務課 ☎ 083-934-2909

農林水産部を創設

～農山村地域をもっと、ずっと元気に～



重要な基幹産業であり、農山村エリアの地域経済の元気を支えている農林水産業の振興に向けた取り組みを強化するため、「農林水産部」を新たに設置します。

■木材の利活用促進、林業の担い手育成など林業の振興に関する取り組みや、森林・林道の整備等を一体的に進めるため、農林政策課林業振興担当を農林整備課に移管します。

■上記林業振興担当の移管に伴い、「農林政策課」を「農業政策課」に改称します。

■効率的かつ安定的な農業経営を確保するため、ほ場整備等の農業生産基盤整備の推進を支援する農林整備課の「指導担当」を「農地活用担当」に改称します。

■農山村エリアの活性化に向けた移住・定住の推進の取り組みを効果的に進めるため、地域生活部定住促進課を農林水産部へ移管します。

所属・電話番号	主な業務内容
農業政策課 ☎ 083-934-2815	農業・畜産の振興、担い手の確保・育成、産物のブランド化・販路拡大・地産地消の推進など
農林整備課 ☎ 083-934-2823	農業農村整備事業、多面的機能及び中山間地域等直接支払、耕地・農業用施設・林地災害の防止と復旧、林業の振興
水産港湾課 ☎ 083-984-8026	水産業の振興、漁港・漁場・港湾・海岸の整備及び維持管理
定住促進課 ☎ 083-934-4646	移住・定住に関する総合窓口及び情報発信、農山村エリアの活性化に関する企画及び総合調整

改称 農林政策課を
農業政策課へ改称

移管 農林政策課林業振興担当を
農林整備課へ移管

改称 農林整備課指導担当を
農地活用担当へ改称

移管 地域生活部から
定住促進課を
農林水産部へ移管

※執務室の場所は変わりません。

子ども・子育て支援のための体制整備

待機児童の解消と多くの同年代の子どもとの関わりによる体験確保のため、南部地域の幼稚園4園（鑄銭司幼稚園、名田島幼稚園、二島幼稚園、秋穂幼稚園）を統合し、幼稚園機能と保育園機能を併せ持つ認定こども園「山口市立山口みなみこども園」を令和4年4月に設置します。

☎ 083-934-2798

山口みなみこども園▶



新設 南部地域に
山口みなみこども園を設置

総合浸水対策の体制強化

河川の流域治水の取り組みを強化するため、山口市総合浸水対策計画を総合調整する担当を上下水道局から都市整備部へ移管して、都市整備部道路河川建設課河川治水対策室で取り組みます。

☎ 083-934-2837

赤妻2号雨水貯留施設▶



改称 道路河川建設課河川担当を
河川治水対策室に改称

地域脱炭素への対応に向けた体制整備

「山口市ゼロカーボンシティ宣言」のもと、本市の地域資源を最大限活用し、市民の皆さん・事業者と一体となって、地域活性化につながる地域脱炭素の取り組みを進めるため、環境部環境政策課内に地域脱炭素推進室を設置します。

☎ 083-941-2180



▲太陽光パネル（平川地域交流センター）

ゼロカーボンシティ宣言とは？

環境省では、「2050年に二酸化炭素を実質ゼロにすることを旨とする」を首長自ら又は地方自治体として公表された地方自治体を「ゼロカーボンシティ」としています。本市は、令和3年12月に「ゼロカーボンシティ」宣言を行いました。令和4年度は、本市の地域交流センターなどの公共施設における太陽光発電設備等の再生可能エネルギーの導入ポテンシャル調査を行います。

新設 環境政策課内に
地域脱炭素推進室を設置

商工振興部に改称 ～商工業の振興で暮らしと経済の元気を守り抜く～

経済産業部の名称を「商工振興部」に改め、商工業分野を中心に本市の地域経済の元気を守り抜き、さらに発展させる取り組みを商工振興部が中心となって進めます。

■都市整備部「中心市街地活性化推進室」を商工振興部へ移管して、中心市街地の活性化や中心商店街の振興への取り組みを強化します。

■経済産業部「新山口駅拠点施設整備推進室」は、施設整備が完了したことから廃止します。同室が行ってきた産業交流拠点施設の運営に係る総合調整をはじめ、施設の特長や機能を生かした新たな交流やビジネスの創出等の取り組みについては、ふるさと産業振興課新事業支援担当で引き続き重点的に実施していきます。



①多くの人で賑わった中心商店街のマルシェ②産業交流拠点施設で開かれたセミナー

所属・電話番号	主な業務内容
ふるさと産業振興課 ☎ 083-934-2719	商工業・地場産業の振興、労働者の雇用・福祉対策、起業・創業の支援、産業交流拠点施設の管理運営・活用
産業立地推進課 ☎ 083-934-2813	企業立地の推進、新産業の創出、産業団地の整備及び維持管理
中心市街地活性化推進室 ☎ 083-934-2923	中心市街地の活性化、中心商店街の振興

移管 都市整備部から
中心市街地活性化推進室を商工振興部へ移管

※執務室の場所は山口総合支所2階です。

(仮称)湯田温泉パーク整備に向けた推進室を設置 ～住んでよし・訪れてよしの湯田温泉を目指して～

本市では、湯田温泉周辺地区都市再生整備計画（計画期間：令和3年度～令和7年度）のもと、令和7年（2025年）に向けた湯田温泉のエリア整備とともに、子どもたちをはじめ市民の皆さん同士や観光客とのさまざまな交流を楽しむことができる（仮称）湯田温泉パークの整備を進めています。令和6年度の供用開始に向け、本施設における事業展開を含めた施設整備を推進するため、交流創造部内に「湯田温泉パーク整備推進室」を設置します。

☎ 083-934-2615

新設 交流創造部内に
湯田温泉パーク整備推進室を設置

※執務室の場所は山口総合支所3階です。



▲（仮称）湯田温泉パークイメージパース図



▲大屋根広場の整備イメージ図

湯田温泉
2025

施設イメージ
動画はこちら▶



その他の組織改編

- 資産税課を5担当から、山口総合支所内の「管理担当」、「家屋担当」、「土地担当」、小郡総合支所内の「家屋土地南部担当」の4担当にします。
- 環境施設課を3担当から、「施設調整担当」、「施設整備担当」の2担当にします。
- 市議会事務局を3担当から、「総務調査担当」、「議事担当」の2担当にします。

執務室の移転

指導監査課が山口総合支所から小郡総合支所2階へ移転します。これに伴い、電話番号は☎ 083-976-4072となります。



ウェブサイトでも公開中

KDDI維新ホール感謝デーを開催

山口市産業交流拠点施設 KDDI 維新ホールが開館からまもなく1周年を迎えるにあたり、2月19日(土)、20日(日)に、新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、KDDI 維新ホール感謝デーを開催しました。

メインホールでは、市内で活動する団体によるステージイベントや、講師の荒到夢形さんによる「葛原猪平伝」の講演会などが行われ、自由通路では、県内の人気店約20店のパンやコーヒー、北欧雑貨やジャム・ワインなどを販売する「パンと珈琲のマルシェ」が開催されました。産業交流スペース「Meegriiba」では、学び合いコミュニティ「Schoo in Yamaguchi」オープンスクールを実施し、起業や地方ビジネスの可能性などをテーマとしたパネルディスカッションが開催されました。



マルシェの様子

設内アカデミーハウスの入居者が主催する「ショコラ de やまぐち」として、チョコレート販売やワークショップなどが行われ、各会場は多くの人で賑わい、訪れた人々がイベントや買い物を楽しむ姿が見られました。

○新山口駅拠点施設整備推進室 ☎083・934・2676、ふるさと産業振興課 ☎083・934・2928

令和3年度市美術展覧会の大賞に村田賢二さんの作品「願う」が選ばれました

3月6日(日)、山口市民会館で、令和3年度山口市美術展覧会の表彰式を行い、市長らが入賞者に表彰状を手渡しました。16歳から87歳までの市民から135点の応募があり、そのうち15点が入賞しました。

大賞に輝いた村田賢二さんの絵画「願う」は、村田さんの姉がモデルで、両手を合わせ一心に祈る姿からは、子や孫へ命のバトンを渡し、さらなる平和と幸福な未来への願いが強く感じられる作品です。

村田さんは「このたびの受賞を姉

もとても喜んでくれた。これを機会により一層努力したい」と受賞の喜びを語られました。市長は「一つひとつの作品が技術的に優れていることはもとより、創作された方々の個性が豊かに表現されており、作者が真剣に作品と向き合い、創作活動を楽しんでいる様子が伝わってくる。今回受賞された皆さんには、この度の受賞を励みとされ、さらなる高みを目指して、何よりも楽しみながら創作活動に取り組んでほしい」と述べました。



村田さん(右)と伊藤市長(左)

○文化交流課 ☎083・934・2717

山口ゆめ回廊物産フェア「ななゆめマルシェ」を開催

3月6日(日)、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、山口市産業交流拠点施設 KDDI 維新ホールで、山口県央連携都市圏域の7市町の特産品や農林水産物を販売する物産

花桃は中也記念館のほか写真の菜香亭など市内5カ所に飾られています。



「めぐり来た春」
春の温かい日差しが降り注ぎ、草木の息吹を感じる3月中旬。中原中也記念館の入り口に飾られた花桃のつぼみも大きく膨らみ、訪れる人の春への期待をも膨らませているよつです。中也が「春の夜」で見た「一枝の花、桃色の花」は、このような色だったのでしょか、中也の詩の世界へ花桃の花は誘うかのように出迎えてくれます。

この花桃、本市と交流のある福島市の名産品で、平成24年から、毎年桃の節句の頃に春の便りとして贈っていたに由来しています。本市と福島市の交流は、福島市出身の和合亮一さんが第4回中原中也賞を受賞したことをきっかけに始まり、現在は若手職員の交換派遣を行うなどの交流が続いています。

長引くコロナ禍で対面での交流が難しい中、花桃が伝える春の香りを、場所は遠く離れていても共有する両市は、とても強く結ばれていると感じました。

○広報広聴課 ☎083・934・2753

小学校新入学児童へ防犯ブザーとランドセルカバーが寄贈されました

3月9日(水)、こくみん共済coop山口推進本部と山口ライオンズクラブから、今春市内の小学校に入学する児童用の防犯ブザーとランドセルカバー各1700個をご寄贈いただきました。同日、こくみん共済coop山口推進本部の中繁尊範本部長、山口ライオンズクラブの野村淳二会長らが市役所を訪れ、市長と教育長に目録と実物を手渡されました。

市長は「本市の新入生への長年のご寄贈に心から感謝する。今後も皆さんのご協力をいただきながら、子どもたちを交通事故や犯罪から守る体制をしっかりとしていきたい」とお礼の言葉を述べました。

ご寄贈いただいた防犯ブザーとランドセルカバーは、教育委員会学校教育課から市内の小学校等33校に配布し、新入学児童全員に配る予定です。

○生活安全課 ☎083・934・2765



体験コーナーの様子



物産フェアの様子

フェア「ななゆめマルシェ」を開催しました。

会場には、7市町から48店舗が出店し、メインホールと自由通路では圏域の地域自慢の特産品や農林水産物、地域おこし協力隊が開発した加工品などの販売が行われ、訪れた人々が出店者の説明を受けながら、買い物を楽しむ姿が見られました。

また、大内塗や和菓子づくりなどの体験コーナーが設けられたほか、出合いの広場ではキッチンカーで瓦そばや鹿肉カレーなどの販売も行われました。このほか、7市町の特産品をデザインしたフォトスポットを巡るフォトラリーや、ウォーターアート・大道芸のパフォーマンス、「ミニ新幹線」への乗車など、会場を訪れた皆さんに楽しんでいただける催しも実施しました。会場は市内外から訪れた多くの家族連れなどで賑わい、大変な盛り上がりを見せていました。

○ふるさと産業振興課 ☎083・934・2952

令和4年4月1日施行

山口市みんなの手話言語条例

この条例は、手話は言語であるという認識に基づき、手話への理解の促進と手話の普及を図ることで、誰もが手話を使用しやすい環境を構築し、すべての市民が尊厳をもって共に生きる地域社会を実現するため、令和3年12月に議員提案により制定されました。

○障がい福祉課 ☎083-934-2794 FAX 083-934-4142

「手話に触れてみましょう」



「手話」は大切な「ことば」です

手話は、音声を用いる言語と並び、手指や体の動き、表情を使って視覚的に表現する言語です。ろう者※が物事を考え、意思の疎通を図り、お互いの気持ちを理解し合うために必要な言語として大切に育まれてきました。

※この条例において、ろう者とは、聴覚障がい者のうち、手話を使用して日常生活または社会生活を営む人のことをいいます。

●手話への理解を促進するため、今年度、市報に手話言語条例に関する特集記事を掲載する予定です。●市報15日号(偶数月)に、簡単ですぐに使える一言を紹介する「ワンポイント手話」を掲載しています。過去の掲載記事を含め、詳細は右の二次元コードから▶



みんなの手話言語条例とは

手話への理解の促進と手話の普及を基本理念として定め、市の責務と市民やろう者、手話通訳等関係者、事業者の皆さんの役割を明らかにするとともに、市の手話に関する施策の推進などについて定めています。

●山口市みんなの手話言語条例の全文・解説は右の二次元コードから▶

本市では、この条例をもとに、より一層、手話への理解の促進と手話の普及を図り、手話を使用しやすい環境づくりを推進していきます。



圏域の市町におでかけしよう！
※詳細は、各お問い合わせ先へご確認
ください。



圏域7市町の
イベント情報

美祿

第18回大正洞桜まつり



化石採集体験や移動動物園（秋吉台
サファリランド）、桜マーケット・
バザー（ごぼう寿司、焼き鳥、アッ
プルパイなど）等のさまざまなイベ
ントを開催します。

日時 4月3日（日）10時～15
時

所 秋吉台エコ・ミュージアム前
（美東町赤 2368-1） ☎ 08396-2-
0605

萩

特別展「百年の布～美しさ
ぼろ
襤褸の世界～」



使い古した木綿布を裂いて糸の代用
とした「裂織（さきおり）」など先
人たちの技術が詰め込まれたさま
ざまな衣類に宿る「美しさ」を通じ
て、現代の衣生活を見つめ直します。

日時 6月19日（日）まで9時～
17時（入館は16時30分まで）

料金 大人520円、高校・大学生
310円、小中学生100円

所 萩博物館（堀内355）
☎ 0838-25-6447

津和野 人々の暮らしの詰まった
「旅の絵本」展 第1期



安野光雅さんの「旅の絵本」シリー
ズの10冊目「旅の絵本X」の原画
を初公開。本作では、オランダの美
しい風景が描かれています。シリー
ズの最終幕をぜひご覧ください。

日時 6月8日（水）まで9時～
17時（木曜休館）

料金 一般800円、中高生400円、
小学生250円

所 安野光雅美術館（後田イ60-1）
☎ 0856-72-4155

宇部

第29回UBEビエンナー
レ実物制作指定作品紹介展



第27回開催時の様子

2022年秋にUBEビエンナーレ彫
刻の丘を彩る野外彫刻の模型作品15
点（10分の1サイズ）を展示します。

日時 4月28日（木）～6月19
日（日）10時～16時（火曜休
館※5月3日は開館）

場所 ときわ湖水ホール アート
ギャラリー（ときわ公園内）（大
字沖宇部254）

問 宇部市文化振興課 ☎ 0836-51-
7282 https://ubebiennale.
com/sculptures/29th-2022

特別展「ぐるぐるミュージア
ム～まわる、うごく！歯車の
チカラ～」



歯車などを利用したからくり作品の
実物資料や、「ベアリング」の歴史
や性能などをパネル・体験展示で紹
介する特別展（巡回展示）です。

日時 4月1日（金）～7月10日（日）
9時30分～17時（入館は16
時30分まで）（月曜休館）

料金 大人510円、小中学生200
円

所 防府市青少年科学館（ソラー
ル）（寿町6-41） ☎ 0835-26-
5050

山陽
小野田

江汐公園つつじ祭り



約5万本のコバノミツバツツジをは
じめ、各種ツツジが園内を色鮮やかに
彩ります。ツツジを見ながら園内を
散策してみませんか。市内の銘菓や
お餅などがもらえるスタンプラリー、
自然散策ツアーなども行います。

日時 4月17日（日）10時～13
時

場所 江汐公園（大字高畑401-1）

問 江汐公園管理棟 ☎ 0836-83-
5378

中原中也賞

受賞者決定

中原中也賞は、日本の近代詩史に足
跡を残した本市出身の詩人、中原中也
の業績を永く顕彰するために創設した
文学賞です。

第27回となる中原中也賞は、2月に
行われた選考会において、令和2年12
月1日から令和3年11月30日までに刊
行された現代詩の詩集218点の中か
ら、國松絵梨さんの『たましいの移動』
に決定しました。

受賞者には、正賞として中原中也ブ
ロンズ像と、副賞として100万円
最終的に討議の対象となったのは、
蛭シモーヌ『なんかでてるとてもで

選考委員評

1月に開催された推薦会において最
終候補作品の7冊が選ばれ、選考会
の対象とされた。
『文化 交流課 ☎ 083・934・
2717

る」と國松絵梨『たましいの移動』の
2冊だった。蛭シモーヌ詩集は、言葉
の発声を基盤としながら、それを文字
表記の次元でどのような問題を派生さ
せるのかを追いかけた作品。國松詩集
は現在の若者がこの世界を取り扱って
き、健康的で最も素直な報告とも言え
る作品。
どちらか第一詩集だが、どちらか受
賞してもいい、という意見が多く、選
考会では1冊に絞りきるまで時間がか
かった。蛭シモーヌ詩集は、技術的に
たいへん高度な力量を見せているが、
読者を置き去りにするような嫌いがあ
ることが難点。その点、國松詩集が持つ
構成員は、読者を次第に、自分にも書け
る、と思わせるような広がりがある。自
ら途中経過とした自覚と今後の可能
性に期待して、中原中也賞に決定した。

ちょっと
紹介！

作品の世界

「うねり」

喧嘩の中で私は丁寧な
鯨になる 潜れば
静かになることが毎度
あたらしく響く おおきな声で

内緒話をするひとりの
渦ができれば そうして
私たちひとりひとりの 日々が
うねり続いていく 時々

ことばを探すように手が宙を搔く
なんてことはない
抓まれたそれをまじまじと
看にし 会合は照らしている

ここだけがあかるい
よな

水があまくなる頃には
もう
なくなっている

受賞作品『たましいの移動』所収
「うねり」より



國松 絵梨

1997年生まれ。慶應義塾大学文学部英米文
学専攻卒、慶應義塾大学大学院文学研究科
在学中。2021年に第一詩集『たましいの移
動』（七月堂）を出版。

受賞者コメント

山口市の皆さま、こんにちは。この度は素
敵な賞をありがとうございます。

私は山口県に行ったことがないので、何うこ
とができるのをとても楽しみにしています。
市報にのせていただいた詩は、まさにコロ
ナ禍にはいつてから、久しぶりに友達と
会った時のことを書いたものです。

思えばこれほど長く続くとはいっていな
かった非常事態、悲しいことも多くありま
したが、そのなかで少しずつでもあった楽
しいことを大事に生きています。
身体だけが同じ場所にも、なにか文字
や映像、絵や音楽などを通して、中身だけ
遠くに運ばれたような気持ちになること
があると思います。

自由に動けない中、この本を読んだ人が、
そうやって移動をしたような気持ちになる
ことができたらと思い、この本はつくりま
した。もし、少し読んで気になったら、ぜ
ひまるごと読んでみてください。



國松 絵梨
『たましいの移動』（七月堂）

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止へのご協力をお願いします

「マスクの着用」や「手洗い」、「3密（密接・密集・密閉）の回避」、換気などの基本的な感染症対策を徹底し体調不良時は、外出や移動を控えるなど、感染拡大防止にご協力をお願いします。一人ひとりの行動が、感染拡大を抑え込み、大切な人と私たちの日常を守ることに繋がります。



新型コロナワクチン接種に関するお知らせ

3回目接種を希望される方は、 早めの予約・接種を

本市では、昨年10月末までに2回目接種を完了された方々に、4月末までに3回目接種をしていただけるよう、接種体制を整備しています。現在のところ、大規模集団接種の実施は、4月までの予定です。接種券がお手元に届き、接種を希望される場合は、ワクチンの種類に関わらず早めの予約・接種にご協力をお願いします。（3回目接種は、2回目接種日から6カ月後の同日以降、接種可能です）

【お問い合わせ先】

- 一般的なお問い合わせ（接種券、接種時期・場所など）
山口市接種予約・相談センター（毎日9時～20時）
☎ 083-976-6420
多言語対応（英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語、タイ語、ベトナム語）
聴覚に障がいがある方は☎ 083-921-2672 にお問い合わせください。
- 専門的なお問い合わせ（有効性、安全性、副反応など）
山口県ワクチン接種専門相談センター（毎日24時間、薬剤師が対応）☎ 083-902-2277
- 制度のお問い合わせ（施策の在り方など）
厚生労働省新型コロナワクチンコールセンター（毎日9時～21時）☎ 0120-761-770

5歳から11歳の方への 新型コロナワクチン接種について

3月7日（月）に本市在住の5歳から11歳の方へ接種券を発送しました。

▼対象 平成22年3月10日から平成29年2月28日生まれの方（令和4年3月以降に5歳の誕生日を迎えられる方は、誕生月の月末開庁日にお送りします。）

● お子様のワクチン接種には、保護者の方の同意と 立ち合いが必要です。

ワクチン接種を受ける際には、感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について、正しい知識を持っていただいた上で、保護者の方の意思に基づいて接種をご判断いただきますようお願いいたします。保護者の方の同意なく、接種が行われることはありません。また、周りの方に接種を強制したり、接種していない人に対して差別的な対応をすることはあってはなりません。

【出典】厚生労働省パンフレット「5歳から11歳のお子様と保護者の方へ 新型コロナワクチン接種のお知らせ」

● 予約受付期間・方法について

現在、5月1日（日）までの予約を受け付けています。今後、1カ月ごとに予約開始日と予約対象期間を設定する予定です。予約受付方法は、医療機関によって異なります。詳細は、市ウェブサイトでご確認ください。

山口市新型コロナウイルス感染症 経済対策について

本市では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、これまで、その時々々の局面に応じて、第11弾までの経済対策等の取り組みを進めています。詳細は市ウェブサイトをご覧ください。



経済対策
総合ページ

本情報は3月11日時点のものです。変更等の可能性がありますので、最新情報は市ウェブサイトをご覧ください。

※市ウェブサイトは各地域交流センターと分館でも閲覧できます。



山口市
ウェブサイト

山口市 コロナ ワクチン 検索

山口市長

伊藤和貴

中でも、私の長年の思いでもあり、
ました「農林水産部」の新設により、
本市の基幹産業である農林水産業の
振興や農山村部への移住定住の促進
には、これまで以上に全力で取り組ん
でまいります。
これからも、人と人との心通う温
かい地域づくりを大切にしながら、
様々な地域課題にデジタル技術等を
活用するなど、都市部も農山村部も
共に発展する県都山口を築いてまい
りたいと思います。

進めること
としており
ます。



共に
歩む
新山口駅出発

共存共栄によるまちづくり

